

※肺、胃、乳(マンモグラフィ)がん検診については、妊娠している方、妊娠の可能性のある方は受診できません。

※検診は、自覚症状がない方が対象です。自覚症状のある方は、医療機関へご相談をお願いします。

検診内容・注意事項等

乳がん検診

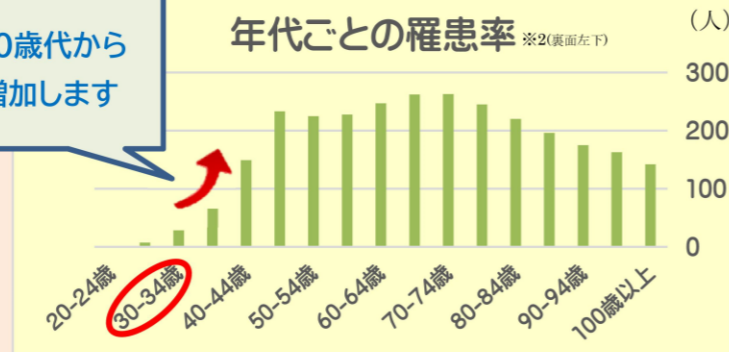
【マンモグラフィ】

乳房のレントゲン撮影を行います

【超音波】

超音波で乳房の断面図を写し出す検査です

30歳代から増加します



- *以下に該当する方は受診できません
- ・自覚症状のある方
 - ・乳房の疾患で経過観察中の方
 - ・乳房内に人工物が入っている方

子宮がん検診

子宮の入り口を軽くこすり、細胞を採取し、異常な細胞がないか調べます

30~44歳は、HPV 検査を併用した検診を受けることができます！！

(31~44歳の方のうち、R5年度の検診で異常なしの方はR6年度は検診対象外です)

HPV 検査とは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)への感染を調べる検査です

初期には自覚症状がありません。定期的に継続して検診を受けることが早期発見につながります。検診を機会に、子宮の状態を確認しましょう！！

大腸がん検診

二日分の便を容器に取り、提出します

大腸がんは増え続けています

※2(裏面左下)



前立腺がん検診

特定・いきいき健診時に採血を行います

50歳を過ぎると前立腺がんになる方が急増します

※2(裏面左下)

受けよう がん検診！ 「早期発見」があなたを救います！！

中野市で実施しているがん検診

検診内容・注意事項等

肺がん検診

【胸部レントゲン検査】

胸のレントゲン撮影を行います

【胸部低線量CT検査】

胸のCT撮影を行います

肺がんは、死亡率が最も高いがんです！
早期発見、早期治療が肝心！！



*過去に呼吸器疾患等にかかったことのある方は、医療機関の受診をご案内しています

*胸部レントゲン検査と胸部低線量CT検査の両方の受診できません

胃がん検診

【胃レントゲン検査】

バリウムを飲み、胃のレントゲン撮影を行います
(朝、空腹の状態で行います)

【胃内視鏡(カメラ)検査】

鼻または口から、内視鏡を挿入し、胃の中の状態を確認します

口または鼻からの内視鏡を選択できます

精度の高さ	口 > 鼻
苦痛の少なさ	口 < 鼻

※鼻の形状によっては、鼻からの挿入ができない場合があります

*バリウムを誤嚥したことがある方、仰向けや腹ばいになれない方は医療機関での受診をご案内しています

*ピロリ菌感染が心配な方や、過去にピロリ菌の感染があった方は、胃内視鏡(カメラ)検査をお勧めします

胃内視鏡検診はがん発見率の高い検診です！！

【がん発見者の割合(R4中野市結果より)】

がん発見者 4人
バリウム受診者 1500人

がん発見者 3人
胃内視鏡受診者 350人

バリウムと比較すると…

内視鏡の
がん発見率は約3倍！！

男性の方へ

40代

40代男性死亡原因1位が、がんになりました。

がんは高齢者だけの病気ではありません。40代はがんが増え始めるため、検診によって早期発見することが大切です。

.....あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診(なりやすいがん順).....

1 **大腸がん** 2 **胃がん** 3 **肺がん**

40代男性の死亡者数ワースト5 (2022年) ※1

1位	がん	6,331人
2位	自殺	3,574人
3位	心疾患	2,427人
4位	脳血管疾患	1,777人
5位	肝疾患	1,213人

50代

50代はそろそろ“がん年齢”。でも、定期的な検診受診で、**自覚症状**が出る前にがんは**早期に発見**できます。

大腸がん・胃がん・肺がんは、早期発見によって80%以上が治癒します※3。

.....あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診(なりやすいがん順).....

1 **大腸がん** 2 **胃がん** 3 **肺がん**

発見時期による5年生存率(大腸がんの場合) ※3

早期発見できた場合	早期発見できなかった場合
生存率 98.8%	生存率 23.1%

60歳以上

60歳を過ぎると、がんになる人は**激増**。毎年、**約15万人の60代男性が、がん**になっています※2。

早期のうちは自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。だからこそ、検診による早期発見が大切。

.....あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診(なりやすいがん順).....

1 **大腸がん** 2 **胃がん** 3 **肺がん**

年代別がんになる人の数(男性) ※2

年代	人数(人)
30代	約10,000
40代	約20,000
50代	約40,000
60代	約120,000
70代	約220,000

タバコを吸う方へ

タバコを吸う人は吸わない人に比べて、男性でおよそ**4.4倍**(女性の場合は約2.8倍)、**肺がん**になりやすいことがわかっています※4。

自身の身を守るため、喫煙している人は必ず**肺がん検診**を受診しましょう。

女性の方へ

20代 ~ 30代

20歳を過ぎたら、2年に一度、必ず子宮頸がん検診を受診してください。

「まだがん検診は関係ない」そう思いませんか？
子宮頸がんは、20代後半以降から増えるがんです。ただ、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒し、妊娠・出産にも大きな影響はありません※2。
でも、早期の段階では自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれられません。

子宮頸がん検診は、あなたの**命と子宮**を守るための検診です。

.....あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診(なりやすいがん順).....

1 **乳がん** 2 **子宮頸がん** 3 **大腸がん** 4 **胃がん** 5 **肺がん**

年代別子宮頸がんになる人の数 ※2

年代	人数(人)
20歳未満	約1,000
20代	約4,000
30代	約10,000
40代	約10,000
50代	約4,000
60代	約2,000
70代	約1,000
80歳以上	約500

40代

40代女性の約**2人に1人**が、**乳がん検診**を受診しています。でも、乳がんの他にも気をつけなければいけない**がん**があるのをご存知ですか？

子宮頸がん・大腸がん・胃がん・肺がんといった、乳がん以外のがんにも、毎年約8千人の40代の女性がなっています※2。

.....あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診(なりやすいがん順).....

1 **乳がん** 2 **子宮頸がん** 3 **大腸がん** 4 **胃がん** 5 **肺がん**

50代

50代は、女性の身体が大きく変わる年代。**がんで死亡する人の数も大きく増加**します。

乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・子宮頸がんといったがんは、早期発見で80%以上が治癒します※5。しかし、早期のうちは自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれられません。

.....あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診(なりやすいがん順).....

1 **乳がん** 2 **大腸がん** 3 **子宮頸がん** 4 **肺がん** 5 **胃がん**

左記の5つのがんによる50代女性死亡者数 ※1

計 **5,181人**

胃がん	463人
子宮頸がん	533人
肺がん	690人
大腸がん	1,196人
乳がん	2,299人

60歳以上

がんになったら治らない、そう思いませんか？
がん検診を対象者がみな正しく受けると、**毎年日本全国で約6万7千人の命が救われます**※5。
(ここでいうがん検診とは、推奨されている以下の5つの検診を指します)

女性がなりやすい5つのがんは、検診による早期発見で80%以上が治癒します※3。

.....あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診(なりやすいがん順).....

1 **乳がん** 2 **大腸がん** 3 **肺がん** 4 **胃がん** 5 **子宮頸がん**

発見時期による5年生存率(大腸がんの場合) ※3

早期発見できた場合	早期発見できなかった場合
生存率 98.8%	生存率 23.1%

※1 出典：人口動態統計(2022年)
 ※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録、2019年)
 ※3 ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時から5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
 出典：全がん協加盟施設における5年生存率(2009-2011診断例)
 ※4 Wakai K et al.(Jpn J Clinical Oncol 2006;36:309-324)
 ※5 国立がん研究センター希望の虹プロジェクトによる推計値